

第116期 2016.4.1 ~ 2017.3.31

株主通信

- P1 社長メッセージ
- P2 事業別業績概況
- P3 新中期経営計画について
- P4 Topics
- P5 主要連結財務指標
- P6 会社情報
- P7 株式情報



ユニキャリア株式会社との経営統合でさらに競争力を高め 新たなステージでの成長にチャレンジしていきます。

2016年度(2017年3月期)は、国内や米国・欧州市場での販売増、国内販社・子会社の収益改善などにより売上・営業利益とも増加しました。

2017年度(2018年3月期)からは、新たな中期経営計画のもと、さらなる成長戦略の推進とグループシナジーの最大・最速化に注力してまいります。



代表取締役社長
二ノ宮 秀明

2016年度の市況と業績の総括

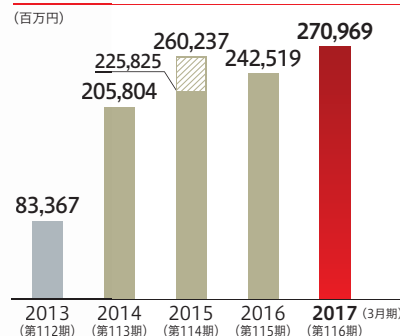
当連結会計年度の当社グループは、国内市場では物流の高度化・効率化といったお客様のニーズに適切に対応した各種ソリューションの提案に努め、一層の売上増加とシェアアップを目指しました。海外市場においては、為替変動に対応するとともに、各地域での販売戦略をサポートする商品の開発・生産・アフターサービスを進め、グループ全体の販売力・収益力の強化に努めました。また、2016年3月31日付で持分法適用関連会社としたユニキャリア株式会社(以下

ユニキャリア)を、当期中の2017年1月1日付で完全子会社化いたしました。

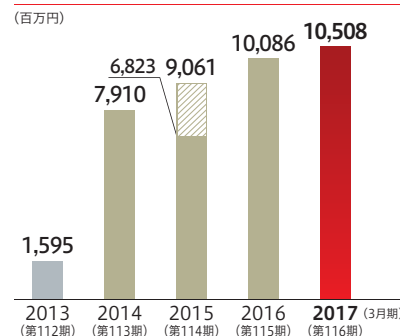
これらの結果、2016年度のグループ連結売上高は、為替換算影響による海外子会社の売上高の減少はありましたが、ユニキャリアが連結子会社となってからの3カ月間が寄与し、2,709億6千9百万円(前連結会計年度比11.7%増加)となりました。

また営業利益については、ユニキャリアの連結損益への寄与に加え、資材費の低減や欧州子会社の利益改善により、105億8百万円(同4.2%増加)となりました。

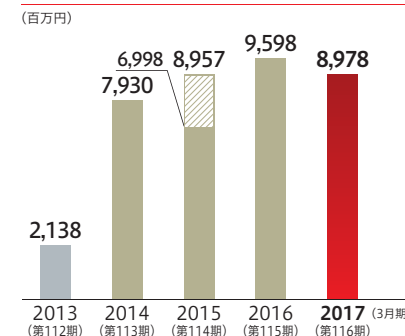
売上高



営業利益



経常利益



■ 2013年3月期は日本輸送機(株)のデータを掲載しています。 ▨ 海外連結子会社の決算期変更に伴う増加分(1~3月)。

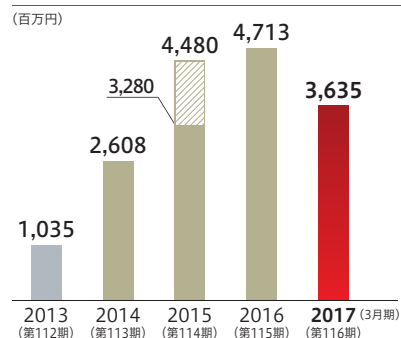
一方、経常利益については、ユニキャリアに関する第3四半期連結会計期間までの持分法投資損失等の影響により、89億7千8百万円(同6.5%減少)となり、親会社株主に帰属する当期純利益は36億3千5百万円(同22.9%減少)となりました。

2017年度の取り組みと見通し

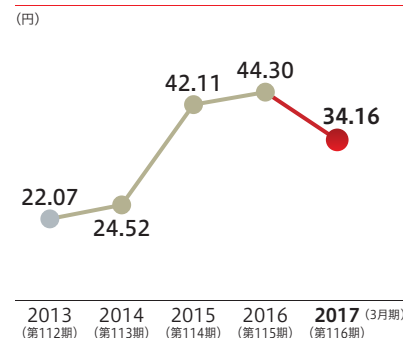
2017年度(2018年3月期)から当社グループは、新たな中期経営計画「Perfect Integration 2020」をスタートさせます※。本中期経営計画は、世界経済と当社を取り巻くマクロ環境の変化に加え、ユニキャリアとの経営統合を見据え、事業規模の拡大とシナジー創出の最大・最速化のために策定を行ったものです。当社ならびにユニキャリア両社がこれまで培ってきた販売、技術、生産のノウハウを結集し、経営統合を通じた規模の拡大と共に強固な事業体質を構築し、成長と収益力の向上に取り組み「世界トップクラスの物流メーカー」を目指します。現在、2017年10月を目標とした経営統合のための諸準備を開始しています。

以上を踏まえ、2017年度(2018年3月期)の連結業績

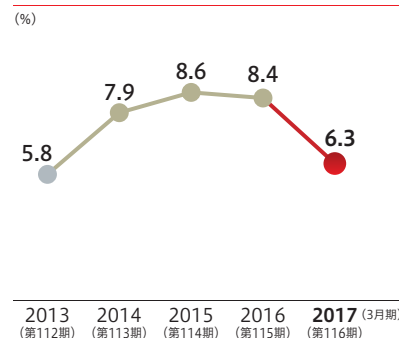
親会社株主に帰属する当期純利益



1株当たり当期純利益



自己資本当期純利益率



見通しについては、売上高4,100億円(前連結会計年度比51.3%増)、営業利益90億円(同14.4%減)、経常利益80億円(同10.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益35億円(同3.7%減)を見込んでおります。

※ 中期経営計画の概要、基本方針、数値目標についてはP3-4をご参照ください。

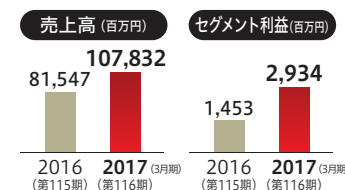
株主の皆様へ

当社は、その期の収益状況に対応し、株主の皆様への配当の充実と企業基盤確立のための内部留保とのバランスに配慮した利益配分を基本としています。この方針に則り、2016年度の期末配当金については1株当たり11円といたします。なお、2017年度については先述した連結業績予想を踏まえ、1株当たり11円を予定いたしております。

株主の皆様には、引き続き当社グループへの温かいご理解とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

事業別業績概況

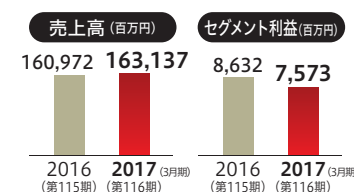
国内事業



売上高は1,078億3千2百万円(前連結会計年度比32.2%増加)、セグメント利益は29億3千4百万円(同101.9%増加)となりました。売上高及びセグメント利益ともにユニキャリア(株)の連結による増加が大きく寄与しております。その他の要因といたしまして、売上高は、バッテリーフォークリフト販売台数の増加及び物流システム大口案件の売上などにより増加しました。セグメント利益は、資材費等原価低減等の好転により増加しましたが、ユニキャリア(株)の連結子会社化による影響を除くと微減となりました。

なお、ユニキャリア(株)の完全子会社化に伴い、当連結会計年度第4四半期から売上高、セグメント利益が連結されたことによる国内事業における影響額は、売上高252億1千万円の増加、セグメント利益15億2千9百万円の増加であります。

海外事業



売上高は1,631億3千7百万円(前連結会計年度比1.3%増加)、セグメント利益は75億7千3百万円(同12.3%減少)となりました。売上高は、ユニキャリア(株)の連結による増加が寄与しました。セグメント利益は、欧州事業の改善や原価低減、経費抑制等の改善要因があったものの、円高による為替換算影響に加え、ユニキャリア(株)の連結におけるのれん償却負担が大きく、減少となりました。

なお、ユニキャリア(株)の完全子会社化の海外事業における影響額は、売上高237億5千万円の増加、セグメント利益8億1千4百万円の減少であります。

事業規模の拡大とシナジー創出の最大・最速化のため、新中期経営計画を策定しました。

当社は、前中期経営計画“Best Integration 2017”（2014年度～2017年度）の達成に向けて取り組んでまいりました。この度、ユニキャリア株式会社の100%子会社化ならびに経営統合と、当社を取り巻く大きな環境の変化を踏まえ、持続的な成長と収益力の向上を目指して、新たに2020年度を最終年度とする4カ年の新中期経営計画“Perfect Integration 2020”を策定いたしました。

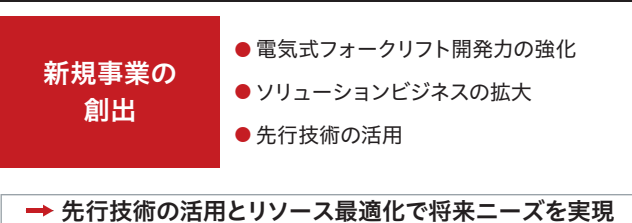
世界トップクラスの
総合物流メーカーへ

Perfect Integration 2020

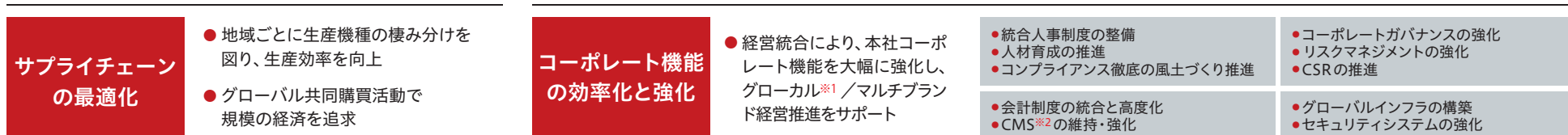


基本方針

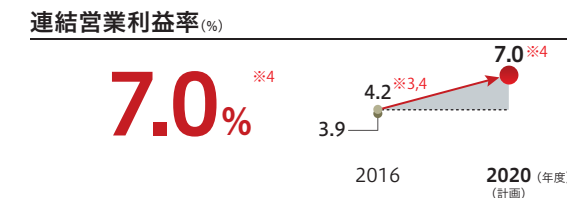
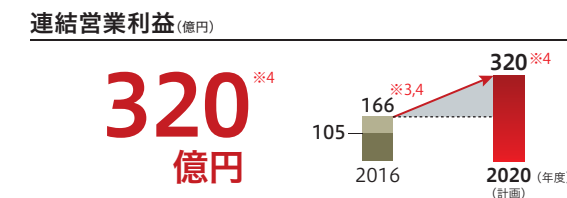
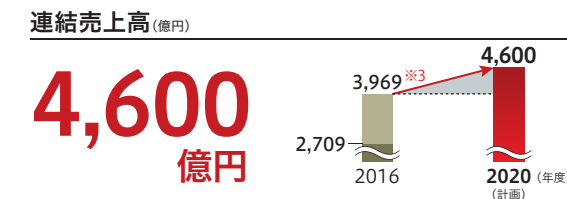
1. マルチブランド/グローバル^{※1}戦略による成長



2. 成長を支える経営基盤の強化



2020年度 数値目標



※1 グローバル：地球規模での展開を目指しながらも、地域独自の要求に合わせた製品やサービスを提供していくこと。 ※2 CMS：キャッシュプーリングを軸としたキャッシュマネジメントシステム。

■ 2016年度の当社決算数値
 ※3 仮想連結(ユニキャリアと当社の決算を2016年度通年で連結した場合)の数値。
 ※4 のれん償却前。

物流現場における人手不足解消に役立つ、レーザー誘導方式無人フォークリフト「PLATTER Auto(プラッターオート)」を新発売。

2017年4月から発売したレーザー誘導方式無人フォークリフト「PLATTER Auto(プラッターオート)」は、欧州で無人搬送システムを展開している当社グループのRocla社の制御技術であるレーザー誘導方式を、当社のプラッターに取り入れた新製品です。

現在、生産・物流現場においては、ネット通販利用の急拡大などを背景に、人手不足の解消が深刻な課題となっています。省人化・自動化・無人化のニーズが高まる中、無人フォークリフトの活躍の場は今まで以上に広がることが期待されます。2016年9月に開催された「国際総合物流展 2016」での参考出展時にも、多くのお客様からご好評をいただき、その注目度の高さがうかがえました。

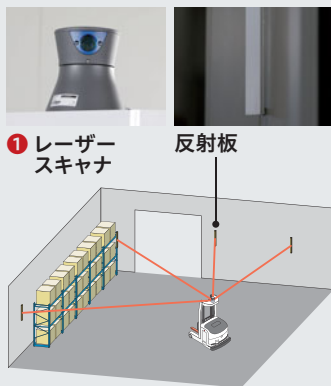
レーザー誘導とは？

車体の上部に取り付けられたレーザースキャナで反射板をスキャンし、車両の現在地を認識して走行する技術です。

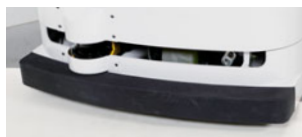
従来、無人フォークリフトの導入にあたって主に採用されていた磁気誘導方式では、走行ルートの床面に磁気棒の埋設工事が必要でした。しかし、このレーザー誘導方式ではそういった床面施工が不要となります。

導入メリット

- 床工事不可の貸倉庫などへも導入が可能
- 工事費用の削減・期間の短縮に貢献
- ルート変更にもフレキシブルに対応可能



無人運転時の安全性確保



2 障害物バンパー
ソフトバンパーで障害物に接触すると停止します。

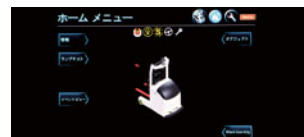


3 方向指示器
走行中、進行方向側にLEDライトが点滅して注意を促します。



4 前方障害物センサー
前方の障害物をセンサーで検出し、減速または停止します。

一目でわかる操作画面

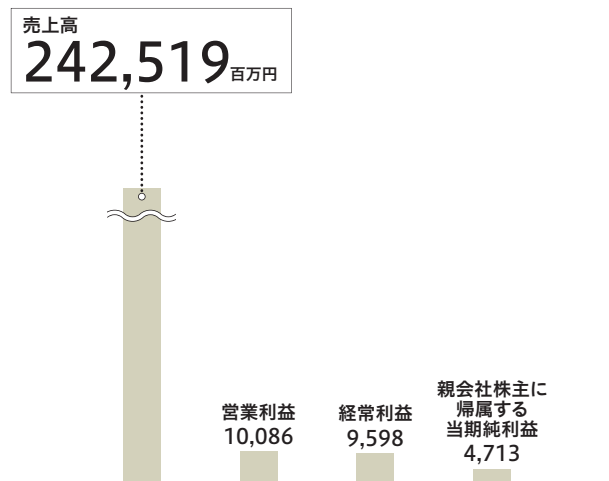


5 操作画面
車両の状態を画面に表示します。

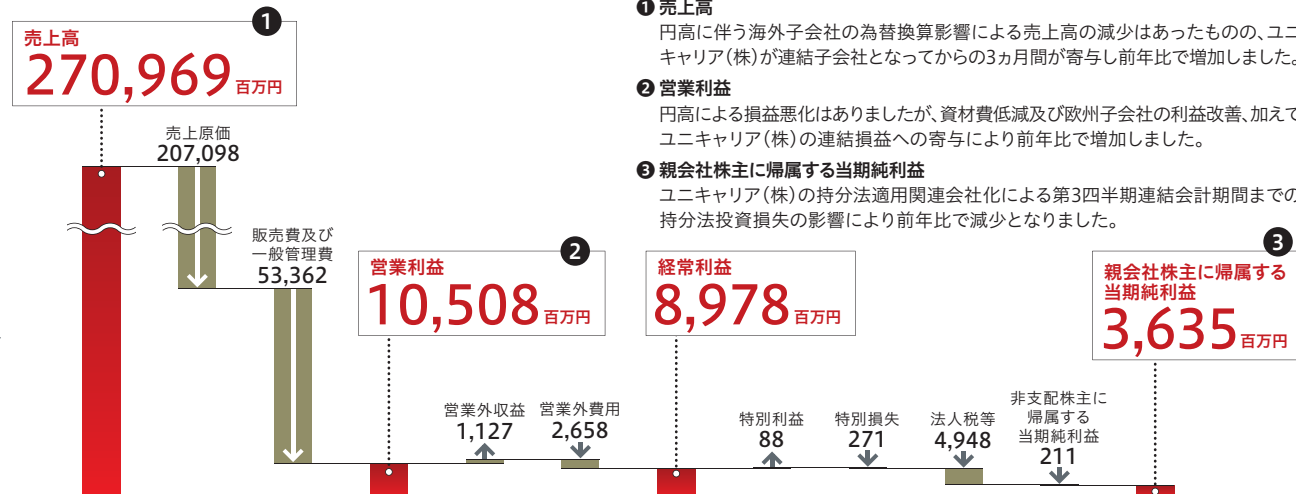
主要連結財務指標

連結損益計算書 (百万円)

前期 (2015年4月1日～2016年3月31日)



当期 (2016年4月1日～2017年3月31日)

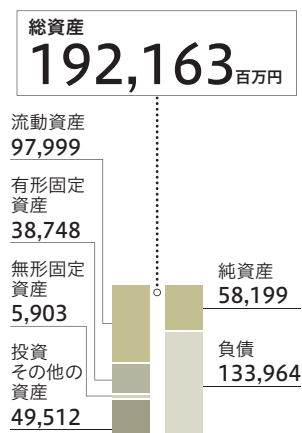


POINT

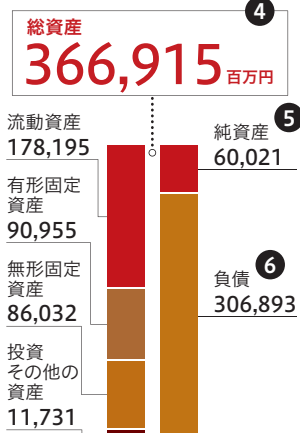
- 売上高**
円高に伴う海外子会社の為替換算影響による売上高の減少はあったものの、ユニキャリア(株)が連結子会社となってからの3カ月間が寄与し前年比で増加しました。
- 営業利益**
円高による損益悪化はありましたが、資材費低減及び欧州子会社の利益改善、加えてユニキャリア(株)の連結損益への寄与により前年比で増加しました。
- 親会社株主に帰属する当期純利益**
ユニキャリア(株)の持分法適用関連会社化による第3四半期連結会計期間までの持分法投資損失の影響により前年比で減少となりました。

連結貸借対照表 (百万円)

前期末 (2016年3月31日)



当期末 (2017年3月31日)

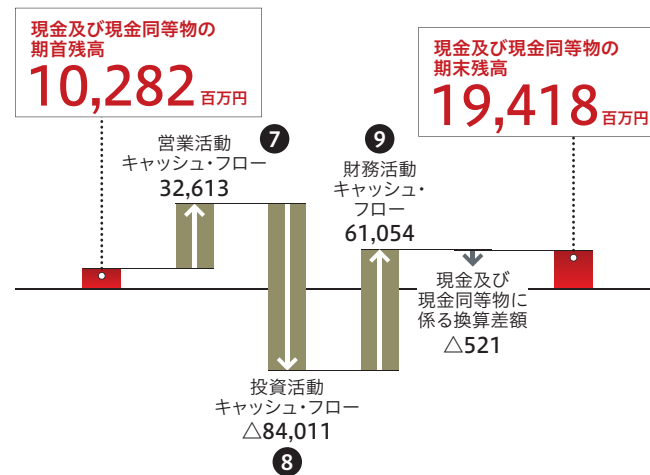


POINT

- 総資産**
本年1月1日付でユニキャリア(株)を完全子会社化したことにより、1,654億8百万円の増加となり、前年比で増加しました。
- 純資産**
のれん代の計上により、前年比で大幅に増加しました。
- 負債**
主に、ユニキャリア(株)株式取得資金として借り入れた借入金の増加により、前年比で増加しました。

連結キャッシュ・フロー計算書 (百万円)

当期 (2016年4月1日～2017年3月31日)



POINT

- 営業活動キャッシュ・フロー**
税金等調整前当期純利益、減価償却費、リース投資資産の減少、たな卸資産の減少、仕入債務の増加及び法人税等の支払等により前年比で増加しました。
- 投資活動キャッシュ・フロー**
有形・無形固定資産の取得による支出、短期貸付金の増加、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出、関係会社株式の取得による支出により前年比で減少しました。
- 財務活動キャッシュ・フロー**
短期借入金の減少、長期借入れによる収入、長期借入金の返済による支出、配当金の支払により、前年比で増加しました。

会社情報

会社概要 (2017年3月31日現在)

社名	ニチユ三菱フォークリフト株式会社 (Mitsubishi Nichiyu Forklift Co., Ltd.)
創立年月日	昭和12年8月4日
資本金	4,890百万円

事業所

本社・京都工場	〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号 TEL 075-951-7171
滋賀工場	〒521-1334 滋賀県近江八幡市安土町西老蘇8-1 TEL 0748-46-5511
公式サイト 研修センター	〒345-0023 埼玉県北葛飾郡杉戸町大字本郷576 TEL 0480-37-2108

取締役及び監査役 (2017年6月29日現在)

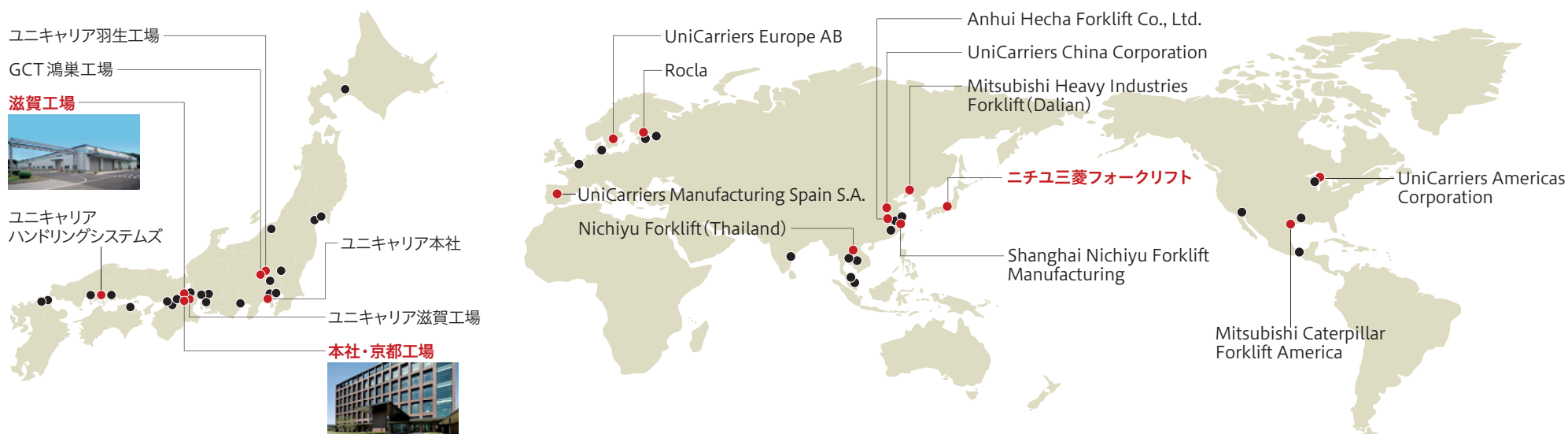
代表取締役	二ノ宮 秀明
代表取締役	御子神 隆 (三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボ ホールディングス(株) 取締役副社長)
取締役	各務 眞規
取締役	藤田 伸二 (ユニキャリア(株) 常務執行役員 開発本部長)
取締役	山本 博章 (三菱重工(株) グループ戦略推進室 戦略企画部長)
社外取締役	加藤 孝幸
社外取締役	大河内 健
常勤監査役	前嶋 弘
常勤監査役	小西 憲雄
社外監査役	倉垣 雅英 ((株)ジーエス・ユアサコーポレーション 取締役)
社外監査役	福岡 靖之 (大日本塗料(株) 常勤監査役)
社外監査役	斉藤 卓美

社長及び役付執行役員 (2017年6月29日現在)

社長	二ノ宮 秀明
副社長執行役員	御子神 隆
常務執行役員	林 久夫
常務執行役員	松本 仁志
常務執行役員	各務 眞規
常務執行役員	中村 真明
上席執行役員	新家 雅隆
上席執行役員	間野 裕一
上席執行役員	大野 雅宏
上席執行役員	ケネス(ケン)・バリーナ
上席執行役員	新聞 洋之
上席執行役員	市原 信二

ネットワーク (2017年3月31日現在)

● 生産拠点 ● 主要販売拠点



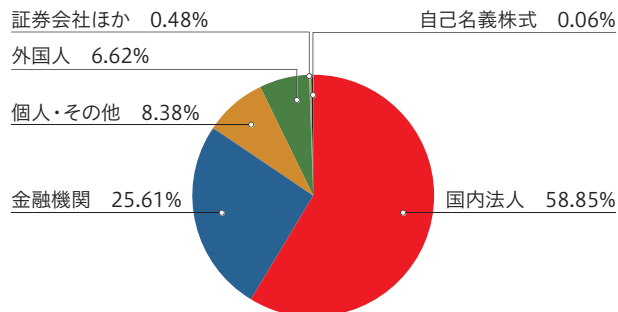
株式の状況

発行可能株式総数	普通株式	392,725,256株
	A種種類株式	32,274,744株
発行済株式総数	普通株式	76,611,269株
	A種種類株式	32,274,744株
株主数	普通株式	3,185名
	A種種類株式	2名

大株主(普通株式)

株主名	持株数(千株)	持株比率
三菱重工フォークリフト&エンジン・ターボホールディングス株式会社	39,033	50.95%
株式会社GSユアサ	4,701	6.14%
日本スタートラスト信託銀行株式会社	3,729	4.87%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	3,642	4.75%
明治安田生命保険相互会社	2,765	3.61%
東京海上日動火災保険株式会社	1,853	2.42%
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,380	1.80%
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,363	1.78%
株式会社京都銀行	1,301	1.70%
株式会社滋賀銀行	941	1.23%

所有者別株式分布状況(普通株式)



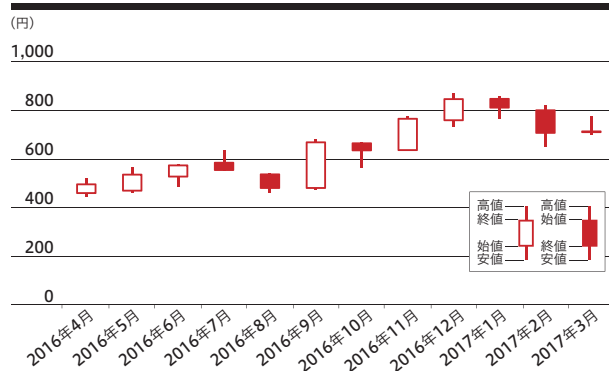
株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
特別口座の 口座管理機関	三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 TEL 0120-782-031(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部
単元株式数	100株
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.pronexus.co.jp/koukoku/7105/7105.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取・買増請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三井住友信託銀行が口座管理機関となっておりますので、三井住友信託銀行にお問合せください。株主名簿管理人である三菱UFJ信託銀行ではお手続きできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株価の推移



ホームページのご案内

<http://www.nmf.co.jp/>

トップページ

「投資家情報」をクリック

投資家情報ページ

最新トピックスをはじめ業績報告や会社情報などを詳しくご案内しております。

ニチユ三菱フォークリフト株式会社

〒617-8585 京都府長岡京市東神足2丁目1番1号
TEL 075-951-7171
FAX 075-955-3797

